

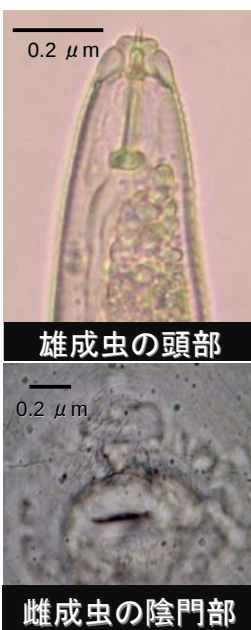
平成25年度病害虫発生予報第7号(10月予報)

＜お知らせ＞ 冬春期の施設栽培野菜等における防除対策についてのコラムがあります(13ページ参照)。
イネヨトウの性フェロモントラップへの誘殺数の推移について以下URLに掲載しております。
<http://www.pref.okinawa.jp/site/norin/byogaichubojou/documents/h25-ineyo.html>

今月のトピックス

ネコブセンチュウ類(野菜類)

学名 : *Meloidogyne* spp.



生態と被害

ネコブセンチュウ類は世界的に広く分布し、野菜類では施設・露地栽培問わず発生する重要害虫である。主な種としてはアレナリアネコブセンチュウ、キタネコブセンチュウ、サツマイモネコブセンチュウ、ジャワネコブセンチュウが知られている。植物の根に侵入にすると特徴的な大小のこぶを形成させ、養分不足による葉の黄化症状や萎れ、株全体の生育不良を引き起こす。連作圃場での発生が多く、他の病害と併発することにより被害が拡大する。土壌中では、卵または二期幼虫の形態で生息し、根内に侵入すると、3回脱皮を重ね雌成虫となる。雄成虫は成育条件が不良である場合に出現する。雄雌で大きく形態が異なり、雄成虫頭部と雌成虫陰門部の観察により種の識別を行うことができる。

防除法には土壌くん蒸剤または粒剤による効果が高く一般的であるが、太陽熱処理や対抗植物を利用することにより土壌中の密度を低減させることができる。

<http://www.pref.okinawa.jp/site/norin/byogaichubojou/index.html>

平成25年9月26日
沖縄県病害虫防除技術センター